

アフターコロナというキーワードで皆さまも次の展開を準備されていると思います。厳しい状況下ですが、この時期に着手し始めないと次の世界が本格化した際に周回遅れになります。弊社も少しずつ変容に着手しています。 栩野

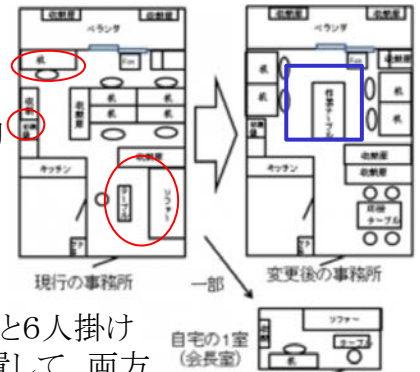
MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

「変容」で始める創発進化

右掲は2月に着想して3月20日21日の連休に什器備品を整理して、一部は自宅に移したレイアウトの変更図です。平成9年4月に1DKを購入して事務所風にリフォームした部屋です。○で囲んだ私の机と椅子は、平成7年7月に創業時に賃貸に入った時に購入した物で24年間同じ場所にいましたが、思い切って自宅に、同時に、同じく○で囲んだソファとテーブルは自宅に移しました。真ん中の○はリソグラフですが、最近はプリントパックなどが安価に印刷するので稼働していませんので廃棄しました。

この結果、□で囲むスペースが出来ました。ほぼ幅3m奥行3mの空間ですここに普段は4人掛けですが、両端に30cmほどの袖が折畳んであつて広げると6人掛けに変身するテーブルを配置しました。玄関には4人掛けの応接テーブルを配置して、両方で合わせて10人が会議できる形になりました。これは、「変容」(姿や形が変わること。姿や形を変えること。)で、「変革」(変えて新しいものにすること。また、変わって新しいものになること)ではありません。お陰様でタイル・カーペットを清掃する機会になり、洗剤「うたまる」を使って永年の汚れを落とせる事が出来ました。英語で言えば、リノベーションは大げさですがリフォームが相当かと思います。

この結果、気分が一新して、毎朝、掃除をするようになりました。普通に「当たり前」な事です。以前は思いついた時に掃除機をかけるだけだったので、私たちには新しい習慣づくりになりました。この習慣がベースになって来客を積極的に呼び込めるようになったのです。まずは、中小企業家同友会の所属支部で小グループ会をお披露目を兼ねて開催しました。仲間5人が来社でZOOM参加3人そして弊社2人の計10名の会合



‘Know-How’ よりも ‘Do-How’ が大切！

になりました。6人掛けのテーブルと机から1名でしたが、好評でした。この経験をベースに地域活動にも活かそうと水曜日を早帰りデーとして、仕事後と土曜日に提供する計画でいます。コロナの問題が解決、あるいは、全員がワクチン接種が終われば実現可能になっています。

「事前調査」という言葉がありますが、経験値のない事は調べても浮かんで来ない問題点が潜んでいますし、思い浮かぶ事でもDo-Howが無ければ、実行に移せないのです。例えば、今回経験した事です。机やファイルを移動させた事によってタイル・カーペットの汚れが出て来たのです。専門の掃除業者に頼むほどの面積ではないのでまず、手洗い用の洗剤でカーペットを洗ってみたら、結構、汚れが落ちたのでHCへ行ってジュータン用の洗剤を探しに行つて「うたまる」石鹼に出会ったのです。家中の汚れに対応というキャッチ・コピーとTVのCMで名前を知っていたので購入して、実際にタイル・カーペットを洗浄したら、頑固な汚れは歯ブラシで洗い落とすという知恵も浮かんで、結構、満足的な状態になったので喜んでます。

創発進化という言葉がありますが、実際に着手すると判明する事がたくさんあります。その判明した事の中から次へのチャンスが見つかるのです。先の「うたまる」洗剤は事務所だけでなく自宅でも活用する発展的応用があり、さらに、ポリッシャーという訳ではないですが雑巾掛けのような電動モップクリーナーで自宅の絨毯を洗浄するようになりました。4S(整理・整頓・清掃・清潔)と言いますが、1ヶ所をキレイにすると自然に全体をキレイにしようというマインドが出来て、整理・整頓・清掃が定着して、その流れの中で改善マインドが浮かんで来て各所の改善が始まるという創発進化の過程が出来るのです。その第一歩は「まず、ここから」と着手する事です。あれこれと思案するのではなく、始める習慣を身に付けるようにしたいです。

ワンポイント・アドバイス

今回は自社のレイアウト変更で「4S」(整理・整頓・清潔・清掃)の基本を身を持って体験しました。トヨタ系販売店勤務時代の「4S」展開のリーダーをしていましたが、実際には同僚が現場に行つて指導していたのです。その時、まず1ヶ所を片付ける事を指導したのです。着手すると動きが出始めるのです。動く事実が分かり応用が生まれるのです。そんな経験を実際に体感して新しい風土になっています。

